

わくわく

10月号

本だな

1 2 3 年



E 『ホテルイカ』

えほん  
E 『ホテルイカ』  
林木林／作 山口亜耶／絵 絵本塾出版  
イカの一家はいかだに乗って、イカにも新しいくホテルイカにきました。プールやエステに、イカなくちゃ。レストランでは、名物りょうりをイカだきま一す。ところが、とつぜん停電でまっくらになり、タコデビルがあらわれたのです。

K913 『となりはリュウくん』

ものがたり  
K913 『となりはリュウくん』  
松井ラフ／作 佐藤真紀子／絵 PHP研究所  
レミのとなりのせきは、転校生のリュウくん。リュウくんはレミの宿題をかってにうつしたり、からあげをとったりします。さつまいもほりの日、レミはおなかがいたくなって、トイレに行くことに。「リュウくんが、わたしの分もいもをほっちゃう」。



K913 『ぼくんちの海賊トレジャ』

ものがたり  
K913 『ぼくんちの海賊トレジャ』  
柏葉幸子／作 野見山響子／絵 偕成社  
良太の家に空から船が落ちてきて、中から海ぞくトレジャがあらわれました。らんぼうでお食いの大食いのトレジャは、良太と犬のチロにしか見えていないようです。良太は、トレジャといっしょに「青くて四角でうたう」たからものをさがすことになります。



E 『としょかん町のバス いこうよがっこうとしょかん3』

ちしきのほん  
E 『としょかん町のバス いこうよがっこうとしょかん3』  
イクタケマコト／絵 横山寿美代／監修 少年写真新聞社  
図書館の本は、きょうりゅう、おり紙など、内ようによって10のなかまに分けられ、分るい記号という数字がつけられています。この本では、それぞれの数字を町にたとえて、バスでめぐります。あなたも、図書館町のたんけんに出かけましょう。



わ く わ く

10月号

本 だ な

4 5 6 年



物語



K933 『本気でやれば、なんでもできる!?』

ジョン・ヨーマン／作 ケンティン・ブレイク／絵

三原泉／訳 徳間書店

図工の時間に集中していなかったビリーは、かごをうまくあめませんでした。でも、先生に、いっしょうけんめいやればなんでもできると言われて、すっかりその気になります。

友だちに、「じゃあ、頭に角をはやせる？」とたずねられ、ビリーはできると答えます。次の日の朝、ビリーの頭には、こぶが二つできていました。

物語

K913 『トクベツな日』

白矢三恵／作 スカイエマ／絵 PHP研究所

ふたばは、にんちしょうのおばあちゃんと暮らすために引っこしてきました。もうすぐ〈もみじ給食〉といって、お年寄りを学校にまね招いて、いっしょに給食を食べる行事があるそうです。

おばあちゃんのことをみんなにかくしたい二葉。学級委員の真央が、サプライズで二葉のおばあちゃんをもみじ給食に呼ぼうとしていることを知り、言いあらそいになります。



ちしきの本



K369 『わたしが障害者じゃなくなる日』

難病で動けなくてもふつうに生きられる世の中のつくりかた』

海老原宏美／著 旬報社

障害ってなんでしょう。体のどこかが悪いことでしょうか。おなかの大きなにんぷさん、よちよち歩きの子ども、言葉の通じない外国人も、生活する中で困ったり、不便だったりします。

筋肉の難病で車いすに乗り、人工呼吸器をつけている海老原さん。海老原さんの人生から、障害のある人もない人も楽しめる、もっと生きやすい世の中を考えます。

図書館のまどぐちには、くみたとすると本になる「わくわく本だな」もあるよ。

ホームページもみてね！〈編集・発行〉富山市立図書館 富山市西町5番1号 電話 076-461-3200